

## 令和元年度 住民懇談会 議事録（藤江地区）



開催日：令和元年 12月 14日（土） 午前 10 時～正午

会 場：藤江コミュニティセンター

出席者：町長、副町長、教育長、企画政策部長、総務部長、健康福祉部長、生活経済部長、建設部長、教育部長、建設部技監、広報情報課長、防災交通課長、都市計画課長、事務局（広報統計係）

参加者：43名

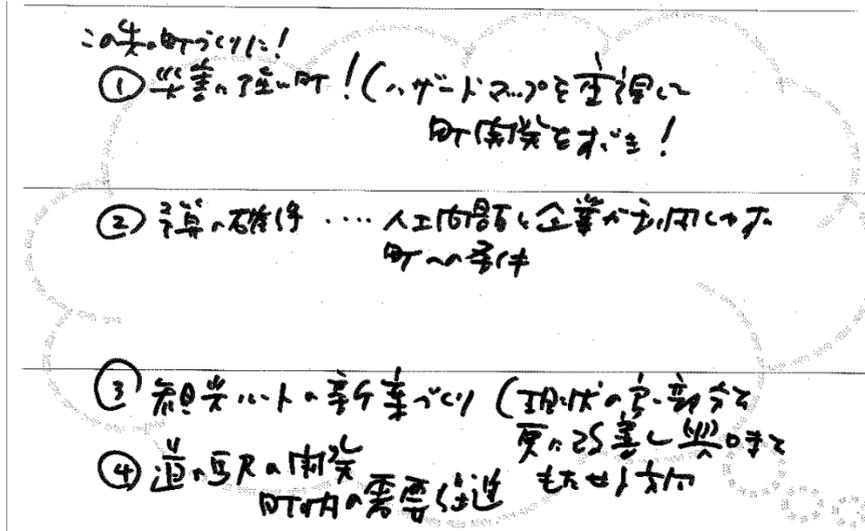
### 【開会】

(町長)

テーマの説明については別添のとおり

### <意見交換>

#### 【まちづくりについて】



(参加者)

4点書きました。まず、1点目に、ハザードマップの活用など災害に強いまちづくりを意識してほしいです。

2点目に、先ほどの町長の説明で、「人口や企業が増えることがないため収入が増えることはない」とのことでしたが、予算のない中でも新しいことをしたり、人を呼び込むようなことをしたりしてまちを活性化してほしいです。

3点目に、町外の方にも興味を持ってもらえるよう、観光ルートの開拓などをしてほしいです。

4点目は、町外の方との交流のために道の駅を作ってほしいです。町内の需要促進にもつながるのではないかと思います。

(町長)

災害に強いまちについては、例えば、イオンモール東浦の南側駐車場は調整池であり、内水氾濫をした場合には池になります。

一方、東浦駅の東側は、土地が低いので盛土をする必要があります。戸建ての住宅を建てるのは難しいので、商業・工業用地として使用するなど工夫が必要だと思います。ただし、愛知県では、商業系のみでの開発はできないため、観光交流系という新しい分野で開発を行う必要があります。先ほどのお話にあった、道の駅も候補に入るかもしれません。

まずは、東浦駅周辺の地権者へのアンケート結果の公表とともに地権者との交渉に向けて進めていこうと考えています。

財源の確保については、企業誘致だけではなく、ふるさと納税や生路5号地をソーラー発電所事業者に貸して、地代を得るなどの努力はしています。まちづくりを行うためにいろいろな財源を考えていますが、今後も知恵を絞っていききたい。

観光ルートについては、東浦町は特別な観光地ではないので、自分たちの誇りとして町を紹介していくのがよいと思っています。全国的な観光地を目指すのは難しいため、町全体としてここに住んでいて気持ちがいいと感じられるといいと思っています。

(参加者)

町運行バス「う・ら・ら」の通る国道366号線沿いの草を刈ってほしいです。

(建設部長)

草刈りについては、国道366号線の施設管理者である県が対応しています。現場を確認した上で対応しているため、対応が遅くなってしまう。町としても、危険を生じる場合は臨機応変に対応していきたいと思います。ご協力いただけるようでしたら、歩道側だけでも、交通量の少ないときに草を刈っていただいて、連絡をいただければ片付けることもできます。

(広報情報課長)

町土木課では、フィックスマイストリートというアプリを運営しています。携帯やスマホで写真をとって、役場へ送っていただくと、土木課職員が対応するので、ぜひ利用していただきたいです。

【自然・景観について】

- 自然が多い所、田園風景が好き。
- 適度に田舎であり、でも大きなショッピングモールがあり住みやすい所が好き。
- もっと若い住民が地域活動が出来るとよいと思。知らない人も多いと思。
- 若物たちを呼びこむことが必要かな。
- 高齢者が住みやすいのはよい。

(参加者)

緒川地区に6年前から住んでいます。366号線に駅が4つもあり、イオンモール東浦もあってとても便利です。東西に田園風景が広がっていていいと思います。

星が綺麗に見える。

自然の中かに

郵便物が生かせる町

町の公共施設をどうしたら積極的に  
使っていくのかを我々がしめす。

(参加者)

10数年前に引越ししてきました。散歩していると挨拶してくれたり、声をかけてくれたりしてくれるのでいいです。あと、星が綺麗であったり、キジを見かけることができたりと、子どもを育てるのにはとてもよかったと感じています。

公共施設については、先送りして延命するのはよいことですが、どのようなイメージで更新していきたいのか、ビジョンがあるといいです。

(町長)

公共施設に関しては、まだこれから具体的に考えていかなければいけません、大きな流れとしては、東浦中学校の周辺に公共施設を集めていこうという考えがあります。また、各地区にある施設も集約していこうと考えています。例えば、森岡保育園が、道路の拡幅計画にかかっているので、森岡西保育園と集約することを考えています。

役場庁舎についても、耐用年数までは大事に使用し、いい庁舎を作っていきたいと考えています。

#### 【町運行バス「う・ら・ら」について】

(参加者)

高齢者に「う・ら・ら」の意見を頼まれました。ダイヤ改正後の仕組みが分からない、分かりにくいということです。高齢者は、新しいことを覚えるのは難しいので、バスに乗れなくなってしまった方がいます。引きこもりになってしまうと介護保険を使う方が増えてしまいます。今までサロンや買い物に元気に出かけていた方々が元気をなくしてしまっているのがとても残念に思えてなりません。

(防災交通課長)

10月からダイヤを変更した「う・ら・ら」について、皆さんから、たくさんのご意見をいただいています。今、順番にサロンで、「う・ら・ら」の乗り方、時刻表の見方を説明しているところです。

乗りこぼし、緒川駅での乗り継ぎ、行先がわからない等多くのご意見をいただいています。特に、郷中の方たちに乗っていただくことを目的に小型車両導入を行いました。乗りこぼしが発生してしまっているため、早い段階で対応していきたいと考えています。

#### 【人のつながり・人材育成について】

(参加者)

30年前に越してきて、越してきた時にどのような方が住んでいるのか不安がありました。少年野球などで地域の方々にお世話になりました。まちは人が形成しているので、まちに住む方々の得意を生かされるといいなと思いました。まちの特徴・得意を生かすことで、予算を節約できると思います。

(藤江区長)

以前、パンフレットを全戸に手配りで配布しました。一声かければ皆さんが動い

てくれるところが、藤江地区のよい所だと思います。パンフレットで藤江地区の取り組みを紹介できてよかったです。

コミュニティについては、若い方の入会がある一方で、お年寄りが入院などで抜けていくこともあります。防災面からも、隣近所とのつながりがなくなることは心配ですので、今後もコミュニティの推進に取り組んでいきたいと考えています。

(町長)

福祉系の方が、最近人とのつながりを重視して面白い取り組みをしています。

(健康福祉部長)

健康福祉部では、今年ひらがなで「ふくし課」を作り、つながり支える仕組みをもっと深くしていこうという取り組みを始めています。誰かに気にかけていただいたことで「助かった」、「助けられた」ということがあります。

つながりづくりには、各種団体、民間企業、また、地域の子供たちにも参加してもらっています。

これからもどんどん支える仕組みをつくっていききたいと考えていますので、地域の方々にはぜひ参加していただきたいと思っています。

#### 【町民の声・「う・ら・ら」について】

(参加者)

今回、懇談会に参加させていただいて大変よかったなと感じています。これまで町長さんへのメールや提言をしています。実際、広報情報課に町長へのメールがどれぐらいあるのか公表してほしいです。

「う・ら・ら」で高齢者が困っています。反対行きのバスは車両の色を変えたり、JRの時刻表に合わせたダイヤにしたり、改善してほしいです。

私は、無駄でもいいから意見を言っていきたいと考えています。

(広報情報課長)

町長への提言は2年ほど前から、意見をいただいていることを広く知っていただくために半年に1度広報紙へ掲載をさせていただいています。直近では、12月1日号で掲載しています。72通いただいている中で、個人情報の含まないもので多く人にかかわるものをピックアップしています。またお時間のある時に、見ていただけたらと思います。

#### 【閉会】